

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム  
文書バージョン: 4.2 – 2015-11-12

## BI ワークスペース作成入門ガイド



# 目次

<b>1</b>	<b>概要.....</b>	<b>3</b>
1.1	BI ワークスペース.....	3
1.2	前提条件.....	3
1.3	このチュートリアルで学習すること.....	4
<b>2</b>	<b>BI ワークスペース内のモジュール.....</b>	<b>6</b>
<b>3</b>	<b>モジュールの作成.....</b>	<b>7</b>
3.1	Dashboards モデルを使用したモジュールの作成.....	7
3.2	Web Intelligence を使用したモジュールの作成.....	7
<b>4</b>	<b>BI ワークスペースの作成およびデザイン.....</b>	<b>9</b>
4.1	会社用 BI ワークスペースのデザイン.....	9
	開始する前に.....	9
	レッスン 1: BI ワークスペースフォルダの作成.....	9
	レッスン 2: BI ワークスペースの作成.....	10
	BI ワークスペースの基本設定.....	11
	レッスン 3: BI ワークスペースのタブの作成.....	12
	レッスン 4: BI ワークスペースのサブタブの作成.....	13
	BI ワークスペースサブタブへのテキストモジュールの追加.....	14
	サブタブへの Web ページモジュールの追加.....	16
	BI ワークスペースサブタブへのビューアの追加.....	17
<b>5</b>	<b>コンテンツリンク.....</b>	<b>19</b>
5.1	コンテンツリンクを使用したモジュールのリンク.....	19
	レッスン 5: ソース Dashboards モジュールとターゲット Dashboards モジュールのコンテンツのリンク.....	19
	レッスン 6: ソース Dashboards モジュールとターゲット Web Intelligence モジュールのコンテンツのリンク.....	21
	レッスン 7: コンテンツリンクの URL パラメータの定義.....	21
<b>6</b>	<b>実行内容の表示.....</b>	<b>23</b>
<b>7</b>	<b>モジュールおよび BI ワークスペースの詳細について.....</b>	<b>24</b>

# 1 概要

チュートリアルでは、SAP BusinessObjects Dashboards モデルおよび SAP BusinessObjects Web Intelligence ドキュメントを含む BI ワークスペースおよびモジュールをデザインして作成するために、SAP BusinessObjects BI ワークスペースの使用方法について説明します。

## i 注記

Dashboards モデルおよび Web Intelligence ドキュメント作成の詳細については、Dashboards および Web Intelligence のマニュアルを参照してください。

このチュートリアルには、以下の操作方法が記載されています。

- 複数のナビゲーション一覧およびビューアモジュールを含むパブリックまたは個人用の BI ワークスペースの作成
- Dashboards モデルおよび Web Intelligence ドキュメントを含むモジュール付きのパブリックまたは個人用 BI ワークスペースの作成
- Dashboards モデルおよび Web Intelligence ドキュメントを使用して作成されたモジュール間のコンテンツのリンク

## 1.1 BI ワークスペース

BI ワークスペースは、モジュール（データ用テンプレート）と BI ワークスペース（1 つまたは複数のモジュールにデータを表示）を使用して、事業活動や業績を追跡するための SAP BusinessObjects アプリケーションです。モジュールおよび BI ワークスペースは、条件が変更されるたびにビジネスルールを調整する必要のある情報を提供します。BI ワークスペースには以下の機能も表示されます。

- タブベースの参照
- ページの作成
- クリック方式の Application Builder
- 詳細なデータ分析のためのモジュール間のコンテンツリンク

## 1.2 前提条件

### 前提条件

前提条件として、次のことが必要です。

- SAP BusinessObjects Business Intelligence platform 4.0 のインストール。
- BI 起動パッドから ► [アプリケーション](#) ► [BI ワークスペース](#) ► へのアクセス。

- [ドキュメント] タブにある [パブリックフォルダ] または [お気に入り] ノードに、フォルダを作成し BI ワークスペースを保存する権限。
- ソースおよびターゲット Dashboards モジュール、および Web Intelligence ドキュメントが作成済みで使用可能となっていることを確認。

## 1.3 このチュートリアルで学習すること

このチュートリアルでは、BI ワークスペースとモジュールの作成と、モジュールのリンクを開始するための基本的な手順を学習します。

### BI ワークスペースシナリオ

eFashion Corporation の営業部長として、BI ワークスペースを作成するために、eFashion サンプルユニバースを使用します。最新の売上げ情報を提供し、その情報を [パブリックフォルダ] ノード内の会社用 BI ワークスペースに保存する BI ワークスペースを作成します。これで、BI ワークスペースを CEO、副社長、およびその他の営業部長と共有するために、この BI ワークスペースを使用できます。会社用 BI ワークスペースには、次の項目を取り入れます。

作成した Dashboards モデルおよび Web Intelligence ドキュメントを含む BI ワークスペース。

店舗収入と、店舗売上対利益の比較を示すレポートを伴う BI ワークスペースタブ。

Web ページモジュールとビューアモジュールを含むサブタブ。

ソースおよびターゲット Dashboards モデルと Web Intelligence ドキュメントのコンテンツを動的にリンクする BI ワークスペース。

このチュートリアルでは、次の操作手順を学習します。

- タブおよびサブタブを使用する BI ワークスペースを作成し、モジュールを挿入します。
- コンテンツリンク機能を使用して、ソース Dashboards モジュールおよびターゲット Dashboards モジュールまたは Web Intelligence ドキュメントのコンテンツを動的にリンクする。
- マネージャに対して BI ワークスペースを使用可能にする。

### チュートリアルで行うレッスン

このチュートリアルには、次のレッスンがあります。

表 1:

章	学習内容
4: BI ワークスペースの作成およびデザイン	<p>レッスン 1: BI ワークスペースフォルダの作成</p> <p>レッスン 2: BI ワークスペースの作成</p> <p>レッスン 3: BI ワークスペースのタブの作成</p> <p>レッスン 4: BI ワークスペースのサブタブの作成</p>
5: コンテンツリンク	<p>レッスン 5: ソース Dashboards モジュールとターゲット Dashboards モジュールのコンテンツのリンク</p> <p>レッスン 6: ソース Dashboards モジュールとターゲット Web Intelligence モジュールのコンテンツのリンク</p> <p>レッスン 7: コンテンツリンクの URL パラメータの定義</p>

---

## 2 BI ワークスペース内のモジュール

モジュールは、BI ワークスペースに表示するデータを挿入するテンプレートです。BI ワークスペースは、1 つまたは複数のモジュールで構成されます。最も一般的に使用されるモジュールは以下のとおりです。

- ナビゲーション一覧モジュール
- Web ページモジュール
- ビューアモジュール
- テキストモジュール
- Dashboards モデル
- Web Intelligence ドキュメント
- Crystal Reports レポート

## 3 モジュールの作成

BI ワークスペースを作成する前に、Dashboards および Web Intelligence を使用して、モジュールと Web Intelligence ドキュメントを作成します。

また、BI 起動パッドの [\[ドキュメント\]](#) タブにパブリックフォルダも作成します。このチュートリアルでは、[\[パブリックフォルダ\]](#) に保存される BI ワークスペースを作成します。この BI ワークスペースは他のユーザも表示できます。

Dashboards モジュールと Web Intelligence ドキュメントは、BI 起動パッドの [\[パブリックフォルダ\]](#) の [\[会社用カテゴリ\]](#) に保存します。

### 3.1 Dashboards モデルを使用したモジュールの作成

Dashboards を使用して、BI ワークスペースでモジュールとして使用される Dashboards モデルまたはビジュアライゼーションを作成できます。[\[ポータル\]](#)、[\[FSCommand\]](#)、および [\[外部インタフェース\]](#) コンポーネントなどの従来のデータ接続を使用して Dashboards モデルを作成する方法を学習するには、*Dashboard Design* および *Presentation Design* のユーザガイド内の次の項目を参照してください。

- [5.2.1.7 ポータルデータ接続の設定](#)
- [5.2.1.9 FSCommand 接続を設定する](#)
- [5.2.1.11 外部インタフェース接続を設定する](#)

次に、モデルを SAP BusinessObjects Business Intelligence platform リポジトリにエクスポートします。

以下の表には、Dashboards モデルを使用して作成できる、さまざまな種類のソースおよびターゲットモジュールが示されています。

ソース Dashboards モジュール	ターゲット Dashboards モジュール
ポータルプロバイダコンポーネント	ポータルコンシューマコンポーネント
FSCommand コンポーネント	ポータルコンポーネント
外部インタフェース/ポータル/FSCommand コンポーネント	外部インタフェース/ポータル/FSCommand コンポーネント

### 3.2 Web Intelligence を使用したモジュールの作成

Web Intelligence を使用して、BI ワークスペースでモジュールとして使用される Web Intelligence ドキュメントを作成できます。Web Intelligence ドキュメントの作成方法については、*SAP BusinessObjects Web Intelligence* による *Interactive Analysis* の実行の次のトピックを参照してください。

- ドキュメントでの作業
  - 3.1 ドキュメントをロードせずに SAP BusinessObjects Web Intelligence を開始する

- 
- 3.2 BI 起動パッドでドキュメントを作成する
  - 3.3 リポジトリからドキュメントを開く



## 4 BI ワークスペースの作成およびデザイン

### 4.1 会社用 BI ワークスペースのデザイン

このレッスンでは、次のポイントを説明します。

- BI ワークスペースフォルダを作成する
- BI ワークスペースを作成する
- BI ワークスペースの基本設定を行う
- BI ワークスペースにタブおよびサブタブを追加する
- BI ワークスペースにテキスト、Web ページおよびビューアモジュールを追加する
- モジュール間のコンテンツリンクを実行する

#### 4.1.1 開始する前に

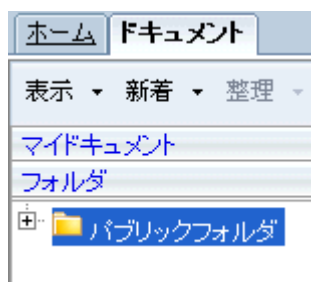
BI 起動パッドホームページおよびツールバーから、次のいずれかの方法で BI 起動パッドに BI ワークスペースを作成できます。

- ホームページから ► **アプリケーション** ► **BI ワークスペース** へ移動する。
- ホームページから ► **マイアプリケーション** ► **BI ワークスペース** へ移動する。

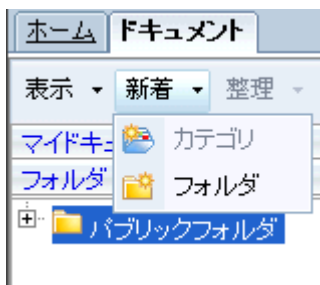
BI ワークスペースには複数のタブとサブタブを設定でき、ある BI ワークスペースから別の BI ワークスペースに対してそれらのタブの追加、移動、コピーを行うことができます。

#### 4.1.2 レッスン 1: BI ワークスペースフォルダの作成

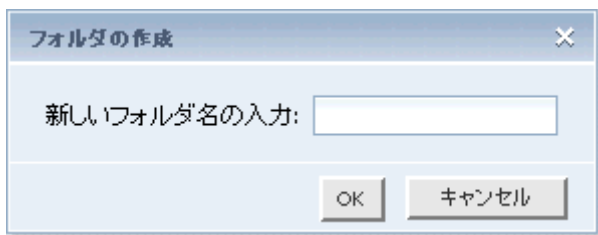
1. BI 起動パッドにログインし、**[ドキュメント]** をクリックします。
2. **フォルダ ツリー** で **[パブリックフォルダ]** をクリックします。



3. ► **新規作成** ► **フォルダ** へ移動します。



4. [フォルダの作成] ウィンドウで、フォルダの名前を入力します。  
たとえば、「会社用 BI ワークスペース」と入力します。



5. [OK] をクリックします。

#### i 注記

[パブリックフォルダ] 一覧に作成して保存した [会社用 BI ワークスペース] フォルダを使用します。


[お気に入り] ノードに新しいフォルダを保存することも、BI ワークスペースを保存することもできます。また、[お気に入り] ノードに作成されたこれらの BI ワークスペースを、他の人がアクセスできるように [パブリックフォルダ] ノードにコピーすることができます。[個人用カテゴリ] ノードに新しいカテゴリを作成できます。

これで、BI ワークスペースとモジュールを作成して保存する準備が整いました。

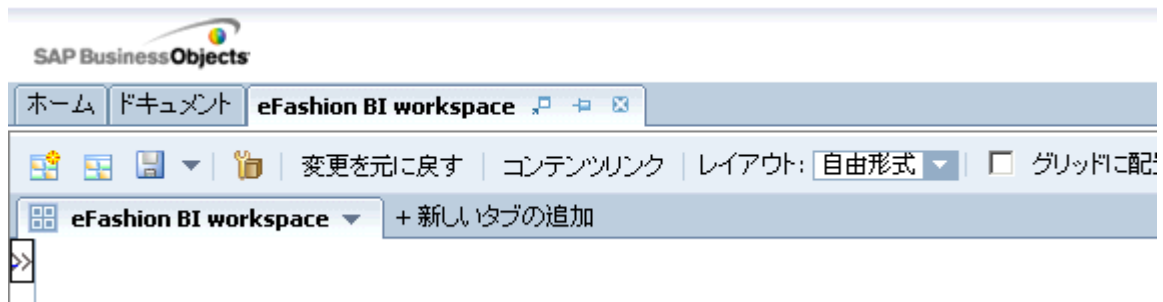
## 4.1.3 レッスン 2: BI ワークスペースの作成

1. BI 起動パッドで、▶ アプリケーション ▶ BI ワークスペース をクリックするか、▶ マイアプリケーション ▶ BI ワークスペース をクリックします。

[新しい BI ワークスペース] ウィンドウが表示されます。

2. BI ワークスペースツールバーで、[名前を付けて保存]  をクリックします。  
[名前を付けて保存] ウィンドウが表示され、デフォルトで [マイドキュメント] ノードが表示されています。
3. 左側のペインで、[フォルダ] をクリックします。  
[パブリックフォルダ] ノードが表示されます。
4. [パブリックフォルダ] を展開して、[会社用 BI ワークスペース] フォルダをクリックします。
5. [ファイル名] フィールドに、BI ワークスペースの名前を入力します。  
たとえば、「eFashion BI ワークスペース」と入力します。
6. [保存] をクリックします。  
[型として保存] フィールドはデフォルトで [BI ワークスペース] に設定されています。

BI ワークスペースが開き、ホームタブが表示されます。このタブでは、BI 起動パッドの基本設定でデフォルトスタイルとして選択したスタイルが使用されています。[\[プロパティ\]](#)を使用して、BI ワークスペースの新しいスタイルを定義できます。



7. [\[eFashion BI ワークスペース\]](#) の横の矢印をクリックして、[\[プロパティ\]](#) を選択します。



[\[プロパティ\]](#) ウィンドウが表示されます。

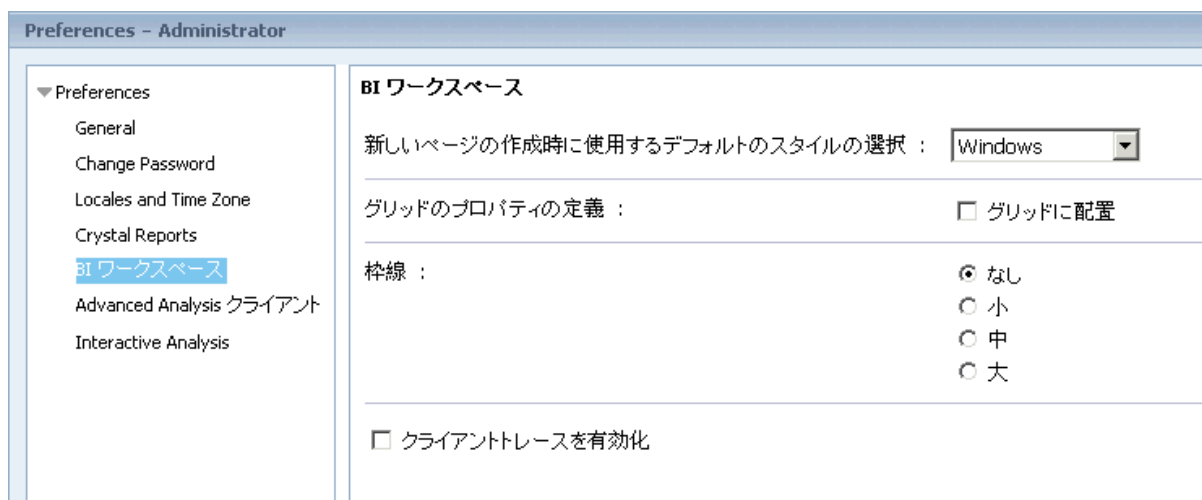
8. [\[スタイルシートの選択\]](#) で [\[スタイルシート\]](#) を選択します。  
[\[選択したスタイルシート\]](#) アイコンが [新規スタイル](#) の書式に変わります。
9. [\[OK\]](#) をクリックします。  
BI ワークスペースにオブジェクトを追加するまで、スタイルシートの違いはわかりません。

次に、基本設定を行い、タブおよびサブタブをこの BI ワークスペースに追加します。

## 4.1.4 BI ワークスペースの基本設定

eFashion BI ワークスペースでは通常、特定のビジュアルスタイルを使用しているので、BI ワークスペースタブまたはサブタブを作成するときにこのスタイルを選択しなくて済むように、デフォルトのワークスペース基本設定を使用します。

1. BI 起動パッドツールバーで、[\[基本設定\]](#) をクリックします。
2. [\[BI ワークスペース\]](#) を展開します。



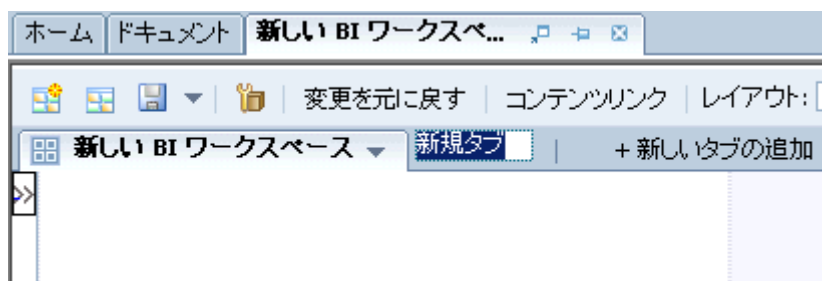
3. [新しいページの作成時に使用するデフォルトのスタイルの選択]一覧から、[デモ]を選択します。  
これで、デモが各 BI ワークスペースのデフォルトスタイルになります。
4. [グリッドのプロパティの定義]の[グリッドに配置]を有効にします。  
グリッドは、ワークスペース内でオブジェクトを整理するのに役立ちます。
5. [枠線]には[中]を選択します。
6. その他の設定は変更せずに、[保存して閉じる]をクリックします。

### 4.1.5 レッスン 3: BI ワークスペースのタブの作成

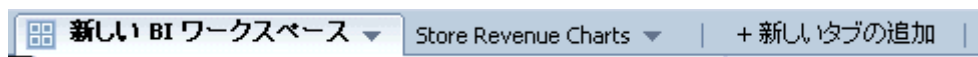
タブとサブタブは、BI ワークスペースで簡単に管理できます。これらのタブを使って、データを整理、分類します。ナビゲーション一覧および複数のビューアモジュールを含む BI ワークスペースにタブを作成して [会社用 BI ワークスペース] フォルダに保存します。

1. [eFashion BI ワークスペース]を開き、[BI ワークスペースの編集]をクリックします。
2. [eFashion BI ワークスペース] ホームタブの横にある [新しいタブの追加] をクリックします。

アクティブなテキストボックスが [新しいタブの追加] テキストに入れ替わります。

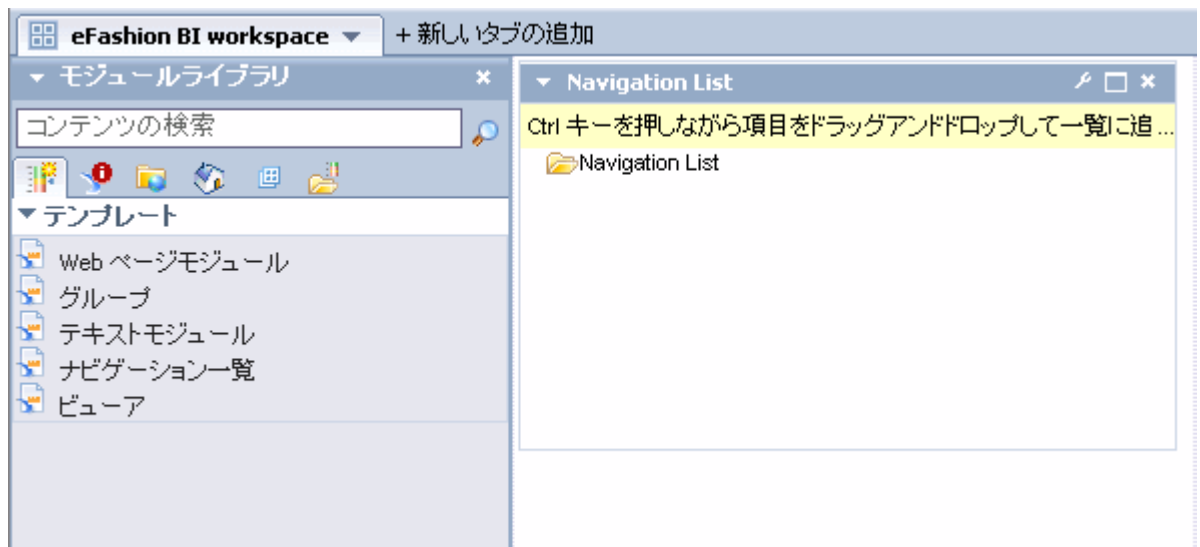


3. このテキストボックスに、新しいタブの名前を入力し、**Enter** キーを押します。  
たとえば、「店舗売上高チャート」と入力します。



4. [店舗売上高チャート] タブをクリックします。

5. [モジュールライブラリ] で [テンプレート] タブをクリックし、[ナビゲーション一覧] モジュールを BI ワークスペースレイアウトの最初の列までドラッグします。




[ナビゲーション一覧] モジュールが BI ワークスペースレイアウトに表示されます。

6. [パブリックモジュール] をクリックし、[Store Sales vs Profit Margins] を BI ワークスペースの 2 列目にドラッグします。  
[Store Sales vs Profit Margins] モジュールは、既存のモジュール一覧から作成されています。
7. [テンプレート] をクリックし、[ビューア] モジュールを BI ワークスペースの列までドラッグします。
8. ステップ 7 を繰り返し、別のビューアを BI ワークスペースの 3 列目にドラッグアンドドロップします。これで、ビューアを編集して、ナビゲーション一覧から呼び出せるさまざまな種類のデータソースや情報を含めることができます。
9. [モジュールライブラリ] を閉じます。

#### i 注記

モジュールのサイズは、ブラウザのサイズを変更すると自動的に変更されます。

10. 次の手順で、モジュールごとに罫線を非表示にします。
  - a. [編集] をクリックします。  

  - b. [レイアウト] タブで [ウィンドウの罫線を表示] を選択解除します。
  - c. [OK] をクリックします。
11. BI ワークスペースを [保存] し、[編集モードの終了] をクリックします。

## 4.1.6 レッスン 4: BI ワークスペースのサブタブの作成

1. [eFashion BI ワークスペース] を開き、[BI ワークスペースの編集] をクリックします。
2. [BI ワークスペース] ツールバーで、[新しいサブタブの追加] をクリックします。



3. テキストボックスに、新しいサブタブの名前を入力し、*Enter* キーを押します。  
たとえば、「[有用なリンク](#)」と入力します。
4. [\[有用なリンク\]](#) サブタブをクリックします。
5. *BI* ワークスペースツールバーで、[\[レイアウト\]](#) 一覧から、[\[自由形式\]](#) 選択します。  
次に、*BI* ワークスペースサブタブにテキストモジュールを追加します。

## 4.1.7 *BI* ワークスペースサブタブへのテキストモジュールの追加

会社用 *BI* ワークスペースのホームタブに、*BI* ワークスペースの目的を説明する情報テキストを追加する必要があります。

1. *BI* ワークスペースツールバーの [\[レイアウト\]](#) 一覧から、[\[テンプレート\]](#) をクリックします。  
[テンプレートレイアウト](#)は、デフォルトで 3 列のテンプレートに設定され、[\[定義済みのテンプレート\]](#) が表示されます。このデフォルトを変更します。
2. [\[定義済みのテンプレート\]](#) 一覧から、[\[2 行\]](#) を選択します。
3. [\[モジュールライブラリ\]](#) を開きます。
4. [\[テンプレート\]](#) タブから、[\[テキストモジュール\]](#) をドラッグして *BI* ワークスペースレイアウトに配置します。
5. [\[テキストモジュール\]](#) にマウスを合わせます。



[テキストモジュールツールバー](#)が表示されます。

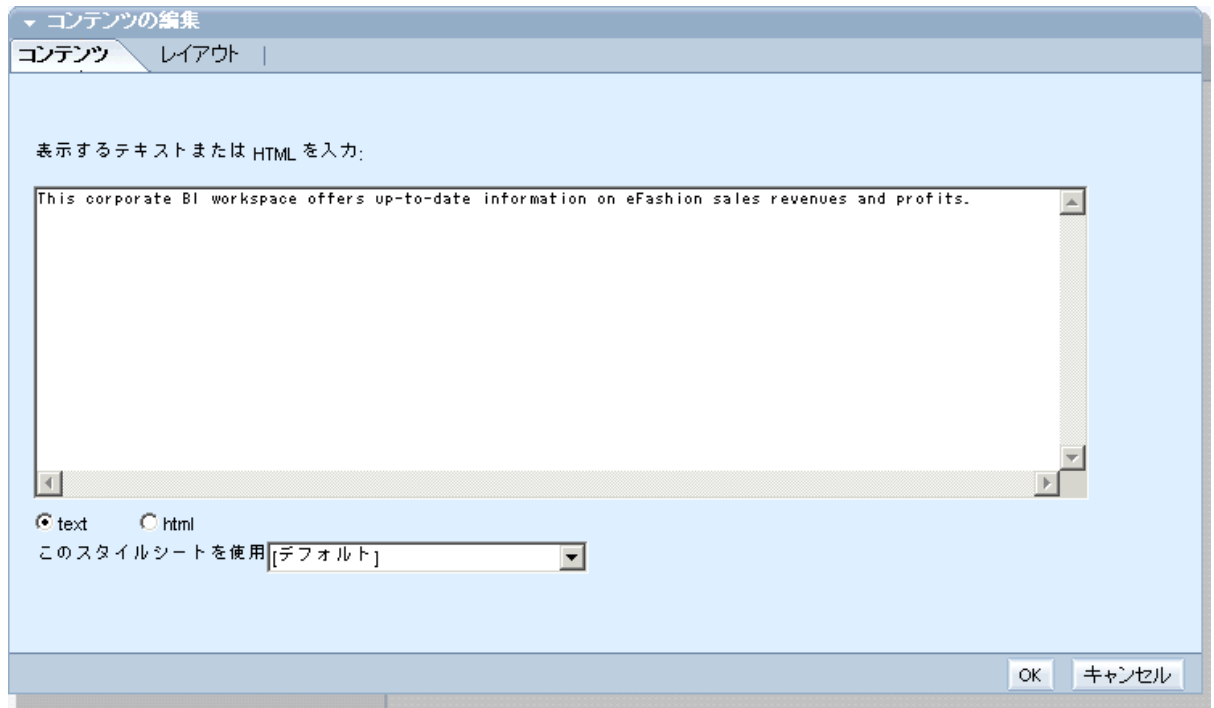
6. [\[編集\]](#) をクリックします。



[\[コンテンツの編集\]](#) ダイアログボックスが表示されます。

7. [表示するテキストまたは HTML を入力] フィールドに、[テキストモジュール] レイアウトに表示するテキストを入力します。

たとえば、「この会社用 BI ワークスペースは、efashionja 売上高と利益に関する最新情報を提供します。」と入力します。



8. [レイアウト] タブページに、[テキストモジュール] のタイトルを入力します。

デフォルトのタイトルは [テキストモジュール] です。

#### i 注記

[コンテンツの編集] ダイアログボックスから変更する代わりに、モジュールツールバーからタイトルを変更することもできます。モジュールツールバーの上にポインタを合わせます。[クリックしてタイトルを編集] オプションが表示されます。

これで、ツールバー上のタイトルをクリックすると、テキストボックスが表示されます。テキストモジュールの新しいタイトルを入力します。



9. BI ワークスペースの編集モードを終了して [OK] をクリックしたときに、[テキストモジュール] ツールバーを非表示にするには、[ウィンドウの罫線を表示] の選択を解除します。

▼ コンテンツの編集

コンテンツ | レイアウト

タイトル: テキストモジュール

説明:

表示方法:

☐ リンクとして表示 (名前だけを表示)

なし

画像を変更

☒ タブ内のウィンドウとして表示

デフォルトのスタイル

☐ ウィンドウの罫線を表示

スタイルの変更    スタイルの継承

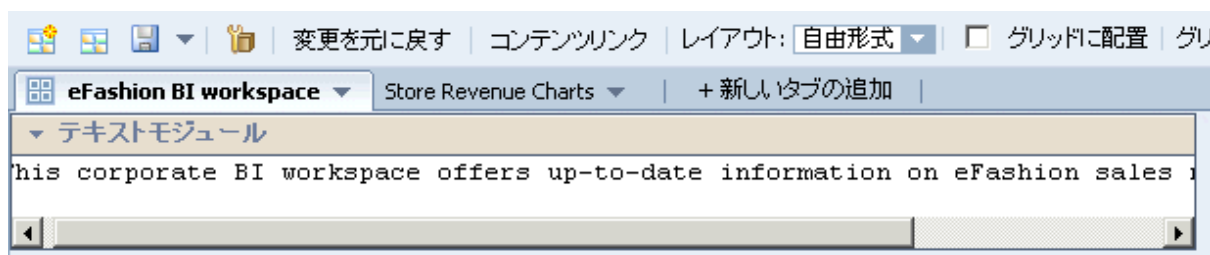
OK    キャンセル

[テキストモジュール] にマウスを合わせ、続けて BI ワークスペースの他の部分に移動します。[テキストモジュール] ツールバーは、マウスがテキストモジュールセクションにあるときにのみ表示され、BI ワークスペースの他の場所にマウスを移動すると非表示になります。

テキストが [テキストモジュール] 内に正しく揃うように、モジュールをリサイズすることができます。

10. [テキストモジュール] の右下隅をドラッグして、テキストを適切に調整して揃えます。

テキストは、次の例のようになります。



## 4.1.8 サブタブへの Web ページモジュールの追加

[eFashion BI ワークスペース] の [有用なリンク] サブタブページを表示していることを確認してください。

1. [モジュールライブラリ] で、[テンプレート] をクリックします。
2. [Web ページモジュール] を BI ワークスペースレイアウトの左の列にドラッグします。

右上隅のグリッドラインに配置されていることを確認するため、オブジェクトを左から右、次いで上下に動かしてみてください。



3. [Web ページモジュール] のツールバーにマウスを移動して、[編集] をクリックします。

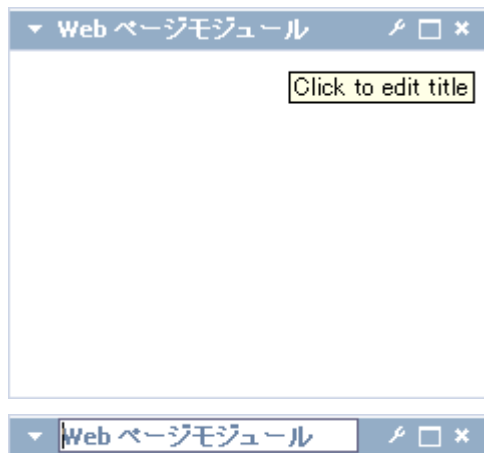


[コンテンツの編集] ダイアログボックスが表示されます。

4. [Web ページの URL を入力] フィールドに、「<http://www.sap.com/>」と入力します。
5. [レイアウト] をクリックします。
6. [タイトル] フィールドに、[Web ページモジュール] のタイトルを入力します。

デフォルト名は [Web ページモジュール] です。

[コンテンツの編集] ダイアログボックスから変更する代わりに、モジュールツールバーからタイトルを変更することもできます。モジュールツールバーの上にポインタを合わせます。[クリックしてタイトルを編集] オプションが表示されます。



これで、ツールバー上のタイトルをクリックすると、テキストボックス

が表示されます。Web ページモジュールの新しいタイトルを入力しま

7. [リンクとして表示(名前だけを表示)] をオンにします。
8. [OK] をクリックします。

SAP の Web サイトが [Web ページモジュール] レイアウトに表示されます。

## 4.1.9 BI ワークスペースサブタブへのビューアの追加

[eFashion BI ワークスペース] の [有用なリンク] サブタブページを表示していることを確認してください。

1. [モジュールライブラリ] で、[テンプレート] をクリックします。
2. BI ワークスペースレイアウトに [ビューア] をドラッグします。  
[ビューア] モジュールが BI ワークスペースレイアウトに表示されます。
3. [モジュールライブラリ] を閉じます。
4. [ビューア] ツールバーの上にマウスを合わせて、[編集] をクリックします。



5. [表示するドキュメントを選択してください。] 領域で、[会社用] をクリックし、[ビューア] モジュール内に表示するドキュメントを選択します。
6. [レイアウト] をクリックします。
7. [タイトル] フィールドに、[ビューア] モジュールのタイトルを入力します。

[コンテンツの編集] ダイアログボックスから変更する代わりに、モジュールツールバーからタイトルを変更することもできます。モジュールツールバーの上にポインタを合わせます。[クリックしてタイトルを編集] オプションが表示されます。これ

で、ツールバー上のタイトルをクリックすると、テキストボックス  が表示されます。ビューアモジュールの新しいタイトルを入力します。

8. BI ワークスペースの編集モードを終了して [OK] をクリックしたときに、[テキストモジュール] ツールバーを非表示にするには、[ウィンドウの罫線を表示] の選択を解除します。  
選択されたドキュメントの一覧と共に [ビューア] モジュールが表示されます。

#### 注記

[ビューア] を拡大するには、ビューアの右下隅をドラッグします。

9. BI ワークスペースに加えた変更を確定する場合は、[保存] をクリックしてから [OK] をクリックします。
10. [編集モードの終了] をクリックします。

[ビューア] モジュールが選択されたドキュメントの一覧に表示されます。

## 5 コンテンツリンク

### 5.1 コンテンツリンクを使用したモジュールのリンク

Interportlet Communication を使用すると、Portal、FsCommand、および External Interface コンポーネントを使用して、さまざまなデータソースを動的にリンクできます。Dashboards モデル、Web Intelligence ドキュメント、または Crystal レポートを作成して、それらを SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームリポジトリにエクスポートできます。

これらのドキュメントは、BI ワークスペースにモジュールとして組み込まれ、BI ワークスペースのコンテンツリンク機能を使用して、データを動的に渡し合って更新するために使用されます。



#### 5.1.1 レッスン 5: ソース Dashboards モジュールとターゲット Dashboards モジュールのコンテンツのリンク



モジュールのリンクを開始する前に、ソースおよびターゲット Dashboards モジュールを作成し、SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームリポジトリの会社用モジュールカテゴリに保存する必要があります。

1. BI 起動パッドにログオンします。
2. **マイアプリケーション** > **BI ワークスペース** をクリックします。  
[新しい BI ワークスペース] ウィンドウが、BI ワークスペースレイアウト、ツールバー、およびモジュールライブラリと共に表示されます。
3. [BI ワークスペース] ツールバーで、[名前を付けて保存] をクリックします。  
[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。
4. [タイトル] フィールドに、BI ワークスペースの名前を入力して、[パブリックフォルダ] 内のフォルダの一つに保存します。  
たとえば、「**Interportlet Communication**」と入力できます。  
[新しい BI ワークスペース] のタイトルが [Interportlet Communication] に変更されます。
5. [モジュールライブラリ] で、[パブリックモジュール] をクリックします。
6. [パブリックモジュール] を展開し、Dashboards ポータルプロバイダマップモジュール (ソース) と Dashboards コンシューマ折れ線チャートモジュール (ターゲット) を一覧で特定します。  
ソースモジュールおよびターゲットモジュールの作成については、Dashboards のマニュアルを参照してください。
7. [Interportlet Communication] BI ワークスペースレイアウトで、ソースおよびターゲット Dashboards モジュールをドラッグアンドドロップします。  
2 つのモジュールが BI ワークスペースレイアウトに表示されます。
8. [BI ワークスペースツールバー] で、[コンテンツリンク] をクリックします。  
ソースモジュールおよびターゲットモジュールを含む [コンテンツリンク] ウィンドウと、[モジュール] および [ポート] 列を含む [使用できる接続] テーブルが表示されます。[使用できる接続] テーブルには、リンク可能な潜在的ソースモジュール

およびターゲットモジュールが表示されます。

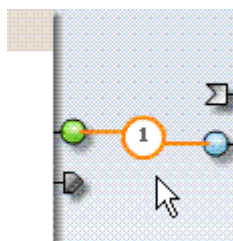
Available Connections		
	Analytics	Ports
Delete connection		

9. ソースモジュールの横にある **PARAMETER\_OUT**  インジケータをクリックして、ターゲットモジュールの横にある **PARAMETER\_IN**  インジケータにカーソルをドロップし、ソースモジュールとターゲットモジュール間のリンクを有効にします。

ページレイアウトにリンクしているコンテンツ内のすべてのモジュールに、**LEGACY\_IN**  インジケータおよび **LEGACY\_OUT**  インジケータがデフォルトで表示されます。

モジュール間で **リンクアイコン** をドラッグアンドドロップしている間、点線が表示され、モジュールのリンクがまだ完了していないことを示します。モジュールのパラメータをマップする必要があります。点線は、モジュール間でマップされているパラメータがないことを示します。

10. モジュール間の点線をクリックします。  
"ソースパラメータ" 列および "ターゲットパラメータ" 列を含む [パラメータマッピング] テーブルが表示されます。
11. [パラメータマッピング] テーブルの "ソースパラメータ" 列で、[マッピング] ドロップリストをクリックしてパラメータを選択します。
12. [パラメータマッピング] テーブルの "ターゲットパラメータ" 列で、[クリックしてマッピングを追加...] ドロップリストをクリックしてパラメータを選択します。
- ソースモジュールとターゲットモジュール間でペアになっているパラメータが、完全にリンクされマッピングされていることを



示す実線付きで表示されます。

#### i 注記

[接続の削除] をクリックして、いずれのパラメータペアでも削除できます。

13. BI ワークスペースを保存するには、[保存] をクリックしてから [OK] をクリックします。
14. [編集モードの終了] をクリックします。

#### i 注記

Dashboards ソースマップモジュールで [テキサス] をクリックします。その州のデータがターゲットモジュールの折れ線チャートに描画されます。モジュール間の詳細リンクは、表示されるソースおよびターゲットモジュール値のデータ範囲を選択して実行することもできます。

これで、コンテンツリンクを使用して 2 つの Dashboards モジュールがリンクされました。

マップモジュールの状態をクリックすると、状態名がターゲットモジュールに動的に渡され、渡されたデータが表示されます。

## 関連情報

[レッスン 6: ソース Dashboards モジュールとターゲット Web Intelligence モジュールのコンテンツのリンク \[21 ページ\]](#)

### 5.1.2 レッスン 6: ソース Dashboards モジュールとターゲット Web Intelligence モジュールのコンテンツのリンク

モジュールのリンクを開始する前に、ソース Dashboards モジュールとターゲット Web Intelligence モジュールを作成し、SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームリポジトリの会社用モジュールカテゴリに保存する必要があります。

1. ソース Dashboards モジュールとターゲット Dashboards モジュールのコンテンツのリンクタスクの 1 ～ 5 のステップに従います。
2. [\[パブリックモジュール\]](#) を展開し、Dashboards ポータルプロバイダマップモジュール (ソース) と Web Intelligence コンシューマモジュール (ターゲット) を一覧で特定します。
3. [\[Interportlet Communication\]](#) BI ワークスペースレイアウトにモジュールをドラッグアンドドロップします。
4. ソース Dashboards モジュールとターゲット Dashboards モジュールのコンテンツのリンクタスクの 8 ～ 14 のステップに従います。
5. Dashboards ソースマップモジュールで、[\[テキサス\]](#) をクリックします。その州のデータがターゲットモジュールの折れ線チャートに描画されます。  
これで、コンテンツリンクを介して、Dashboards モデルと Web Intelligence ドキュメントを使用して作成されたモジュールがリンクされました。

マップモジュールの状態をクリックすると、状態名はターゲット Web Intelligence ドキュメントに動的に渡され、渡されたデータが表示されます。

## 関連情報

[レッスン 5: ソース Dashboards モジュールとターゲット Dashboards モジュールのコンテンツのリンク \[19 ページ\]](#)  
[Web Intelligence を使用したモジュールの作成 \[7 ページ\]](#)

### 5.1.3 レッスン 7: コンテンツリンクの URL パラメータの定義

Google URL パラメータを使用してレポートモジュールを Web ページモジュールにリンクするには、次の手順を実行します。

1. 新しい BI ワークスペースを作成し、保存します。
2. モジュールライブラリを開き、[\[パブリックモジュール\]](#) 一覧で Interactive Analysis フォルダを開いて、Charting Samples モジュールをワークスペースにドラッグします。
3. モジュールの [\[レポート 3\]](#) タブを開いて右クリックしてそのレポートパーツを選択します。このチャートを使用すると、Google trends アプリケーションを介して製造ラインを選択し、国際的なトレンドを表示することができます。

4. ターゲット Web ページモジュールを最初のモジュールの右側にドラッグして、次の Google trends 検索 URL を入力します。「<http://www.google.com/trends?q=>」。
5. [BI ワークスペースツールバー] で、[コンテンツリンク] をクリックします。  
[コンテンツリンク] ダイアログボックスが表示されます。上部のダイアグラムに、ソースモジュールとターゲットモジュールが表示されます。[使用できる接続] テーブルには、リンク可能な潜在的モジュールおよびポートが表示されます。
6. 上部のダイアグラムで、Charting Samples モジュールの外向きポートを Web ページモジュール の内向きポートにリンクします。
7. 右下の [パラメータマッピング] テーブルで、[ターゲットパラメータ] 列の 1 つ目のセルで q を選択して、折れ線の値が Google trends モジュールの出力にマッピングされるようにします。ダイアログボックスを閉じます。
8. ワークスペースを保存し、[編集モードの終了] をクリックします。

Charting Samples モジュールのグラフで任意の [折れ線] バーをクリックすると、Google モジュールの [<トレンドを検索>] フィールドにその名前が表示され、そのトレンドの関連リンクも表示されます。

## 6 実行内容の表示

これで、最初の会社用 BI ワークスペースの作成が完了しました。BI ワークスペースを閉じて BI 起動パッドに戻り、実行した内容を確認します。

▶ ドキュメント ▶ パブリックフォルダ ▶ 会社用 BI ワークスペース ▶ に移動します。

[会社用 BI ワークスペース] フォルダ内に、次のドキュメントがあります。

- eFashion BI ワークスペース
- 店舗売上高チャート
- Store Sales vs Profit Margins

---

## 7 モジュールおよび BI ワークスペースの詳細について

モジュールと BI ワークスペースについて詳しく学習するには、次のいずれかを行います。

- SAP BusinessObjects BI Workspaces ユーザーズガイド、Dashboards および Presentation Design のユーザガイド、および SAP BusinessObjects Web Intelligence による Interactive Analysis の実行を参照してください。
- 『SAP BusinessObjects™ BI workspace XI: BI ワークスペースのデザイン』コースを受講する。  
このコースは、クラスルームトレーニングおよび e ラーニングレッスンとして受講できます。  
詳細については、<http://www.sap.com> を参照してください。



# 重要免責事項および法的情報

## コードサンプル

この文書に含まれるソフトウェアコード及び / 又はコードライン / 文字列 (「コード」) はすべてサンプルとしてのみ提供されるものであり、本稼動システム環境で使用することが目的ではありません。「コード」は、特定のコードの構文及び表現規則を分かりやすく説明及び視覚化することのみを目的としています。SAP は、この文書に記載される「コード」の正確性及び完全性の保証を行いません。更に、SAP は、「コード」の使用により発生したエラー又は損害が SAP の故意又は重大な過失が原因で発生させたものでない限り、そのエラー又は損害に対して一切責任を負いません。

## アクセシビリティ

この SAP 文書に含まれる情報は、公開日現在のアクセシビリティ基準に関する SAP の最新の見解を表明するものであり、ソフトウェア製品のアクセシビリティ機能の確実な提供方法に関する拘束力のあるガイドラインとして意図されるものではありません。SAP は、この文書に関する一切の責任を明確に放棄するものです。ただし、この免責事項は、SAP の意図的な違法行為または重大な過失による場合は、適用されません。さらに、この文書により SAP の直接的または間接的な契約上の義務が発生することは一切ありません。

## ジェンダーニュートラルな表現

SAP 文書では、可能な限りジェンダーニュートラルな表現を使用しています。文脈により、文書の読者は「あなた」と直接的な呼ばれ方をされたり、ジェンダーニュートラルな名詞 (例: 「販売員」又は「勤務日数」) で表現されます。ただし、男女両方を指すとき、三人称単数形の使用が避けられない又はジェンダーニュートラルな名詞が存在しない場合、SAP はその名詞又は代名詞の男性形を使用する権利を有します。これは、文書を分かりやすくするためです。

## インターネットハイパーリンク

SAP 文書にはインターネットへのハイパーリンクが含まれる場合があります。これらのハイパーリンクは、関連情報を見いだすヒントを提供することが目的です。SAP は、この関連情報の可用性や正確性又はこの情報が特定の目的に役立つことの保証は行いません。SAP は、関連情報の使用により発生した損害が、SAP の重大な過失又は意図的な違法行為が原因で発生したものでない限り、その損害に対して一切責任を負いません。すべてのリンクは、透明性を目的に分類されています (<http://help.sap.com/disclaimer> を参照)。

[www.sap.com/contactsap](http://www.sap.com/contactsap)

© 2015 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も、SAP SE 又は SAP の関連会社の明示的な許可なくして、いかなる形式でも、いかなる目的にも複製又は伝送することはできません。本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。SAP SE 及びその頒布業者によって販売される一部のソフトウェア製品には、他のソフトウェアベンダーの専有ソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。

これらの文書は、いかなる種類の表明又は保証もなしで、情報提供のみを目的として、SAP SE 又はその関連会社によって提供され、SAP 又はその関連会社は、これら文書に関する誤記脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP 又はその関連会社の製品及びサービスに対する唯一の保証は、当該製品及びサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。

本書に記載される SAP 及びその他の SAP の製品やサービス、並びにそれらの個々のロゴは、ドイツ及びその他の国における SAP SE (又は SAP の関連会社) の商標若しくは登録商標です。本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。

商標に関する情報および表示の詳細については、<http://www.sap.com/corporate-en/legal/copyright/index.epx> をご覧ください。